



# Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531  
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911  
 ●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

## 出席報告

会員数78名

## 今週のお祝い

**本人誕生祝:** 1日 船田正一君 3日 石部裕一君、  
 牛込淳彦君 5日 宮本守君 8日 村上一平君  
 12日 井上博吉君 13日 上森明郎君  
 15日 荒川圭一君、石井敬薫君 29日 野津一成君

## 会長挨拶

皆さんこんにちは。本年2回目の例会ということで、本日は(株)SC鳥取、ガイナール鳥取の社長である塚野真樹さんをお呼びしています。J2に昇格して快進撃を続けた昨年前半でしたが、後半は、勝ちに恵まれなくてハラハラした1年であったかと思えます。

つい最近の日本海新聞に「今年は任せろ」という大きな記事が写真入で出ていました。米子の方でも第2スタジアムがぜひほしいということで、一時盛り上がったことがありました。議員としても、東山公園をつくり直すときに、スタジアムとして合格するような装備にしたかどうかということで喧々諤々議論しましたが結局実現しませんでした。今、野人スタジアムというのを安倍山のゴルフコースの地域に立ち上げる話を聞いています。そして、今は、J2というレベルのチームにまで育ててきており、私も誇りに思っていますし、本日は、そういったところをじっくり聞かせていただきたいと思います。

阪神大震災が1月17日で17年になりました。それと、田村社長の久米桜酒造さんと山陰酸素の並河さんとでつづっている大山Gビールというのが6月にはアジアでNO1になり、10月にイギリスで審査があって、各地の代表が集まった中でヴァイツェンという部門で世界一になりました。日本だけでも

たくさんありますし、世界中にもたくさんあります。そういった中で世界一になることはどえらいことです。第1回目が香港でアジア大会があったそうです。同じビールがずっと移動して、10月の最終審査の時まで手を加えることなく進み、ブラインド審査で世界一になったそうです。本物だなと感じました。私は、招待状があったので、佐田山理事と一緒にやってきましたが、ぜひ、皆さんも、世界一の大山Gビールを飲んでいただきたいと思えます。本日は、PRタイムでした。

## 幹事報告

- 2012-2013年度RIテーマ「奉仕を通じて平和を」
- (財)米山記念奨学会から公益法人 米山記念奨学会へ移行
- ポール・ハリス・フェロー 認定書、ピン贈呈
- 米山功労者 第2回マルチプル 贈呈
- 下期会費のご案内
- 例会の変更のお知らせ  
 鳥取RC 1/26(木)休会(定款第6条)  
 倉敷東RC1/26(木)⇒1/27(金)新年例会に変更  
 (ビジター受付あり 事務局にて)

## 今後の予定

- |      |                       |
|------|-----------------------|
| 1/25 | クラブ協議会                |
| 2/8  | 家庭集会 (伊藤会員邸)          |
| 2/15 | 5RC合同夜間例会(ホテルサンルート米子) |
| 2/29 | 休会(定款第6条)             |



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to embrace humanity

こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

## 《プログラム》

### 「ガイナーレの近況」 (株)SC鳥取代表取締役 塚野真樹氏



皆さんこんにちは、只今、紹介していただきました(株)SC鳥取、チーム名はガイナーレ鳥取の代表をしております塚野真樹と申します。演題の方は「ガイナーレの近況」とさせていただきます。今は、昨年の2011年シーズンに初めてJ2に参加させていただいて、シーズンが終わり、チームをリニューアルして再始動しようとしているところです。

思い起こすと、2001年から全国リーグであるJFLに参戦しました。当時はアマチュアチームでして、経営的にも順位的にも大変でした。そして、その後、Jリーグを目指そうという活動になって、2007年からプロチームとして動き出した。2008年、2009年と連続して、最終ゲームで落とすことになった。2010年は、本当に現場がよくがんばってくれて独走で優勝した。そして、2011年に初のJリーグを迎えた。前半戦はびっくりするくらい勝ち、一時は5位につけていた。しかし、中盤以降失速して、結果は、8勝7分け23敗の19位であった。実は、8勝はJ2に昇格したチームでは過去最高です。当初は、5勝すれば夢のようなものではないかと言われていた。Jリーグの本部からも「順位はいいから安定した財務基盤を目指しなさい」ときつく言われてスタートしたものであった。

クラブの代表として一番気になるのは観客動員数です。なぜかという、人の見ているところでやるのがプロのサッカーだという点です。今シーズン、コスタリカの代表選手が2人来ます。26歳のストライカーと21歳のディフェンスの選手です。コスタリカは、中米の赤道近くにある小さな国ですが、サッカーはとても強いです。日本代表がアウェーで試合をするとたぶん負けると思いますし、日本でやればどうかなというレベルです。ワールドカップに3回出ていますし、日韓ワールドカップにも来ています。このコスタリカから来たフォワードの選手が2月17日にイングランドで代表戦があるので出たいといって許可を取りにきました。ウェールズ代表とコスタリカ代表がヨーロッパで試合をするのですが、そこでプレーをすると、スカウトが見に来ているので、よく5億円、10億円、20億円という値がついているが、選手はそれに期待しているのです。日本のJリーグはアジアの中でも相当なマーケットであり、各国のスカウトがたくさん来ている。そのために日本に来たいという選手がたくさんいる。今回、コスタリカから日本に来たのは、そういう意味合いも含んでいる。逆に、ガイナーレ鳥取は、日本の選手からはあまり人気がない。「鳥取は窓を開けると砂が入ってくるんでしょう」とか「夜はラクダが出るんでしょう」と本気で言われる。でも、来てくれるともものすごく喜ばれる。どうも水がいいみたいで、鳥取に来て子供ができたカップルが3組ある。コスタリカの選手も「鳥取は本当にきれいだ、ゴミがない」と言っていた。

何とか、強いチームをつくって、たくさんのお客さんに来てもらいたいと考えています。Jリーグに上がる前の平均観客数は3400名でした。そして、Jリーグにあがると当然ドーンと増えると思っていました。昨年11月にFC東京という東京ガスが親会社のチームと戦った。このとき、東京から2000名が来られた。土曜日の5時からの試合であり、その日に帰れないので、鳥取で宿泊された。FC東京のホームスタジアムは東京の府中にあり、府中と言えば、キタローの水木先生のところです。水木しげるロードへ行きたいということで境港へいかれた方もいます。また、旭国際ゴルフ場もFC東京のサポーターで満員になったとのことでした。このように2000名の方が来てくれたにもかかわらず、昨年の平均観客数は3700名でした。平均すると300名の増加であり、20試合ですから6000名の増加であった。Jリーグになってわずか300名しか増えていないということは会社としてはやばいと思います。アンケートをとって、どこから来ていただいているかをみると、3200名は、鳥取市、倉吉市の東部、中部であった。あと、200名が西部ということである。東部が増えて、西部が減っているのであるが、これは、西部で試合ができなくなっているのが当たり前のことである。東中部には32万人の人口があり、1%の人が来ていただいている計算になる。東中部はスタジアムから1時間半の圏内にあるが、サッカークラブの例をとると、1時間圏内の1%というのが平均である。ガイナーレ鳥取は、1時間半圏内で1%の人が来ていただいているので浸透率からすると平均の1.5倍になり数値としては悪くないと言える。ということは、鳥取県を東西またにかけ、行ったり来たりするような体制をつくるのが大切であると考え、野人スタジアムをなんとしてでも完成したいということで動いている。勝てば、お客さんが増えるかというあまりそうではなく、身近であるとか生活の一部になっていることの方が大事である。これは、自分の子供の野球と同じです。自分の子供が野球をやっているならば、勝とうが負けようが応援に行きますね。こういう世界をつくらうと思っています。

最近すごく思うのは、キャッチボールの大切さ、いいコミュニケーションを行うということです。私のことをよくリスクをとっていると言われる。確かに、危ない橋を渡っているかもしれませんが、死ぬのはいやであり、一番いいのは、助けてもらうということです。自分でできることには限界があります。今、ここまでやってこれているのは助けてくださる方がたくさんいるからです。では、助けてもらうにはどう

すればよいかと思うと、キャッチボールと同じで、自分たちがやることで役に立つことです。いろいろな方にガイナレ鳥取が役に立つことができたときにガイナレ鳥取を助けてもらえるということ、今、本当に思っています。これをサッカーで言うと、パスサッカーです。パス出して受けて、パス出して受けてのパス&レシーブなんです。これは、なでしこジャパンのサッカーです。

なでしこジャパンは、パス&レシーブの精度を高めて世界一になりました。これは、日本人の絶対的な特徴だと思いますし、鳥取県人である我々は相当得意だと思います。要は、「野人スタジアムをやりましょう。やるぞ!」と言って、「お願いします」、「お金を貸してください」とボールを投げました。で、返ってきたのが「絶対ほしいよな」、「できるんだったら出すよ」という答えでした。であれば、まず、「できる」という保証をつけなければいけない。ということで、金融機関にお願いして事業の内容をみていただき、融資証明書を頂いた。で、今は、「できますので、皆さんよろしく願いいたします」と回っているところです。幸いに反応していただく方がたくさん出てきていただいているので、これからも引き続きがんばっていきたくて考えています。お願いすることばかりで申し訳ないですが、スタジアムの実現と今シーズンもガイナレ鳥取へのご声援をよろしくお願いいたします。

### R財団への寄付

#### ポール・ハリス・フェロー(PHF)認証者



西上哲弘 会員



北沢薫 会員



荒川圭三 会員



小田浩一 会員



小椋理佳 会員

池淵建夫 会員(欠席)

#### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(PHF+1)認証者



木下博夫 会員



伊藤慎哉 会員

#### 米山記念奨学会への寄付

#### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(PHF+2)認証者



野坂美仁 会員  
松本啓 会員(欠席)



梅田整一 会員

#### 米山功労者感謝状 第2回マルチプル



野坂美仁 会員